

No.151 2018 APRIL

平成30年4月20日発行



愛と復興

30年度予算	2
除雪費2.1億円に	6
議会構成変わる	10
一般質問・8名が町政をたずね	15

発行：只見町議会広報広聴常任委員会  
〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下2591番地30  
TEL.0241-82-5300 FAX.0241-82-5222  
E-mail:gikai@town.tadami.lg.jp

# 議会だより

# 只見



只見町議会中継は、只見町議会  
ホームページから視聴できます  
←議会中継へ

奥会津工芸の匠  
(11ページに説明を掲載)

# 30年度 予算

■一般会計は、総額55億7800万円で前

## 特徴

年度比4億3600万円、率にして85%の増。財政健全化に努める一方、広域消防庁舎建設負担金、明和振興センター耐震補強工事など住民生活に應える増額予算となった。

町税は、前年度比1700万円の減額

# 観光交流などへの対応で プロジェクトチーム結成

## あらまし

3月会議が3月6日から16日まで開催されました。町長の施政方針では、課題に対応するプロジェクトチームの立ち上げが示され、一般質問では8議員が町政をただしました。4日目からは、予算特別委員会による平成30年度当初予算の審査が行なわれ、すべてを原案の通り可決。追加提案された教育長などの人事案件が承認され散会しました。



みんな笑顔で只見保育所入所式

# 「保育料無料化」年中児童まで拡大 「職員育成」で組織のレベルアップ

## 主な取組み

- 見込み。一方、地方交付税収入は前年より約5600万円増額を見込んでいる。
- 県支出金は、林道災害復旧事業補助金などにより増額となった。
- 組織機構改革で3地区振興センターを統括するセンター長を配置する。
- 「自然首都・只見」宣言から11年、全国ブナ林フォーラムを開催する。
- 住宅改修と民間借上げ住宅を確保し、住宅の整備を促進する。
- 空き家計画に基づき、定住促進に向けた空き家対策を進める。
- 三条市と「八十里越」開通後の地域振興策について協議を進める。
- 保育料の無料化を年長児童から年中児童に拡大し保護者負担の軽減を図る。
- シルバー人材センターの立ち上げを進め、生きがい対策に取り組み。
- 庁内に「まちづくり勉強会」を立ち上げ、職員のスキルアップと組織のレベル向上に努める。
- 「観光交流」などをテーマにしたプロジェクトチームを4月早々立ち上げ課題への対応に当たる。

平成30年度各会計予算額と議決状況

会計名	予算額	議決内容	賛 否									
			酒井	大塚	藤田	中野	佐藤	鈴木(好)	目黒(道)	鈴木(征)	目黒(仁)	山岸
一般会計	55億7800万円	意見付し原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険事業特別会計	5億1400万円	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
国民健康保険施設特別会計	4億6600万円	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
後期高齢者医療特別会計	1億4200万円	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
介護保険事業特別会計	7億1600万円	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
介護老人保健施設特別会計	2億6200万円	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地域包括支援センター特別会計	1100万円	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
簡易水道特別会計	2億5000万円	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
集落排水事業特別会計	2億9500万円	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
朝日財産区特別会計	1400万円	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
合計額	82億4800万円	30年度より観光施設特別会計、交流施設特別会計は一般会計に移行										

### 賛成討論

山岸国夫議員  
保育料の無料化が新たに組まれた予算に賛成する。

### 新年度予算は 次の意見を付して可決した

1. 道の駅構想について  
町民の関心が高い課題であるため、交流人口の増加につながる施策を慎重に検討すること。
2. 人口減少対策について  
具体的に新たな対策がさらに必要であるため、プロジェクトチームを中心にダイナミックな施策を早急に検討すること。
3. 事務事業の精査について  
事務事業の精査に努め、業務量に見合った適正な人員配置と超過勤務抑制のための対策を講じること。

# 予算特別委員会

## 質疑応答

### 問「道の駅」全町的視点で配置検討を

### 答 議会と共同歩調で



朝日のいいもの集めちゃった市開会式

#### 自主財源

**問** 町税などの自主財源と依存財源の割合は。

**答** 自主財源は16億円（3割）程度、地方交付税などの依存財源が39億円（7割）程度。

#### 「道の駅」検討委員会

**問** 道路改良やトンネル計画も踏まえて全町的な視点で考えるべきだ。

**答** 議会と共同歩調で幅広い視点で協議したい。白紙で検討していく。

#### 職員数と超過勤務手当

**問** 健康を害している職員もあるようだ。職員数は足りているのか。

**答** 足りている状態にはない。超過勤務の抑制など職員の労務管理を徹底していく。

#### 民具資料館

**問** 実施設計予算が計上されたが今後の計画は。

**答** 31年度から工事期間2か年を予定している。その後養生し34年オープンを予定している。

#### 地域活動支援センター「じねえんと」

定している。

**問** 競争性のない委託は理解できない。サービス向上と財政負担の軽減につながる委託を検討すべきだ。

**答** 毎年のご指摘で、内容を精査し検討する。

#### 住宅計画

**問** 移住定住住宅の今後の計画は。

**答** 今年度4戸1棟、民間5戸、31年度5戸で計14戸の計画。

#### 固定資産税

**問** ダムなどからの大規模固定資産税が毎年減収している。新たな財源を講ずる必要があると考えるが。

**答** ご指摘の河川流還元について、全国組織の中などで協議したい。



只見町はダムからの固定資産税収入が大きい

# 問 語学指導、今年度の計画は

## 答 郡内初小学校から英語教育

### 集会施設

**問** 高齢化で各集落からの改修要望が多い。今年度該当しなかった集落の今後の対応は。

**答** 昨年度の倍の4集落分を予算提案した。その他集落もスピード感をもって対応する。



外国語指導助手（ALT）による授業

### 語学指導

**問** 今年度計画は。

**答** 小学校からの英語教育に郡内初で導入する。

### あさくさホーム 運営費補助

**問** 補助金が必要な理由は。

**答** 赤字補てんだが、国の介護報

酬が減ったことが一番の原因。

### 防災行政無線 デジタル化

**問** 更新理由は。

**答** 老朽化で聞こえが悪いこと。また、現在の周波数の規制がある。

### 新規参入農業者

**問** 何に取り組みめるのか。

**答** 長浜にIターンされ、トマト栽培に従事される予定。

### 未来自分設計 奨励金

**問** 中学卒業時に1人10万円が渡されるが、その有効性は。

**答** 当面要綱通り執行するが、主旨を理解していただく必要がある。

## 「森林の分校ふざわ」 指定管理者決まる

## 議案 審議



森林の分校ふざわの魅力は地元住民によるサービス

### 管理を行なわせる施設

・森林の分校ふざわ（山村のくらし体験施設）

### 指定管理者となる団体

・森林の里応援団

### 期 間

・平成30年4月1日から平成33年3月31日

# 補正 予算

## 大雪

今年は3年ぶりに豪雪対策本部が設置され、その対策関連予算を含む平成29年度一般会計補正予算が可決されました。約1億5千万円の除雪費が更に追加補正され、総額2億1千万円となりました。その他、年度末による整理予算が多く含まれます。

29年度  
除雪費

さらに6千5百万円増額

総額2億1千万円に



豪雪にも負けない厄男衆（雪まつり）

### 29年度第8号補正予算の主な内容

(歳入)	金額
町税（個人、法人）	315万円
地方消費税交付金	507万円
災害復旧費県補助金	4268万円
(歳出)	
まちづくり会社設立支援等業務委託料	△540万円
中心市街地活性化事業補助金	△200万円
只見振興センター外構整備工事	△535万円
地域づくり交付金（3振興センター）	△190万円
除雪支援事業給付費	643万円
町道除雪委託料	6500万円

## 落雪対策 一層の強化を

只見町の空き家は、この15年で約2倍の200軒に増加。今年、豪雪対策本部が集計した被害状況は、落雪によるものが全体の約半数を占め、住民の高齢化とあわせ、一層の落雪対策の強化を求める意見が出された。町当局は検討の意向を示している。



ロータリー車の高さまで積もった雪



6年生を見送る明和小卒業式在校生

# 小学校の在り方検討 結論もちこす

## 小学校在り方 検討会

**問** 1年間の検討結果は。

**答** 報告書がとりまとまったが、結論には至っていない。

## 中心市街地 活性化計画

**問** 駅前整備の今後の考え方は。

**答** 道路改良含めて県やJRと協議が必要。個別の事業で検討していく。

## まちづくり会社

**問** 不採択の原因は

**答** 採択基準が厳しくなりクリアできなかった。

## 農業経営体育成 支援補助金

**問** 減額の理由は。

**答** 申請が1件取り下げられたためだ。

## 遊休農地解消 支援補助金

**問** 減額の理由は。

**答** 本年度は申し込みがなかったが、来年度は集落から要望がある。

## ふるさと納税 返礼品

**問** 減額の理由は。

**答** より魅力を上げるために新たな返礼品を検討してきたがもう少し時間がかかる。

## 只見振興セン ター外構工事

**問** 減額の理由は。

**答** 土砂の入替を見込んでいたが、その必要がなくなったため。

## 地域づくり 交付金

**問** 減額だが住民自治の向上が図られたか。

**答** 今後ソフト事業を多く取り入れたい。周知方法も住民説明会を行なうなど力を入れていく。

### 繰越明許事業と繰越金額

事業名	繰越金額
庁舎暫定移転事業	1億4190万円
農業経営体育成支援事業	1996万円
林道改好事業	696万円
宿泊・飲食事業持続化創業支援事業	500万円
道路補修事業	2423万円
道路新設改好事業	3094万円
スノーステーション整備事業	3885万円
公営住宅環境整備事業	274万円
中学校施設設備修繕事業	1570万円
林道現年災害復旧事業	7341万円

## 繰越 明許

### 承認された 繰越事業

3月会議において、昨年度から新年度へ繰り越しされた事業は次のとおり。

### 繰越明許とは

本来町の事業は、その年で事業を完了させることが原則とされている。繰越明許費とは、理由によってその年度内に終わらなかった事業を翌年度に財源を繰り越して事業の実施を認めるもの。

# 議会活動 レポート



朝日診療所ロビー

朝日診療所の運営については、平成30年度から3年間の「経営健全化計画」が示された。内容は、昨年7月から既に実施されている「患者のニーズに合った診療時間の設定」、「ホームページの充実」、「町民の中に入り講話を行なう啓蒙活動」などである。

診療所は、町民にとって最重要施設であることから、健全化に向けて継続的に調査を行なう。

## 総務常任厚生委員会 朝日診療所の 運営健全化を継続調査

朝日診療所患者数実績の推移

(単位：人)

	平成21年度	平成23年度	平成25年度	平成27年度	平成29年度 見込み
入院	4,500	4,300	3,500	4,800	3,900
外来	21,100	20,700	18,800	19,100	18,200
歯科外来	6,600	6,000	6,000	5,500	4,900

## 広報広聴常任委員会

### 議会報告会の 在り方検討

昨年10月行なった議会報告会では、町民から会議の在り方についてご意見をいただき、今後どの様に多くの参加者を募って開催できるか報告会の在り方を検討してきた。本来、住民の意見を聞く「広報」の場であることを念頭に、世代別の開催や、テーマを絞った常任委員会ごとの開催を行なうなど改革を進めている。



1月会議傍聴に訪れた只見小児童



# 経済文教常任委員会 奥会津地方の県道の 整備促進を



金山町で行なわれた今年度総会

只見・金山・昭和県道改良促進期成同盟会平成29年度総会が金山町で開催され、県への要望時期などを決めた。町からは、町長、

議長、経済文教常任委員、そして坂田、布沢の地元区長も参加し布沢横田線「松坂峠」の通年通行などを県当局に求めた。県当局から以下の事業概要の説明を受けた。

布沢横田線は、今年度交付金事業で待避所2箇所、進捗率69%。公共災害復旧事業で応急復旧と災害査定を実施した旨を報告。小林宮下停車場線は、布沢待避所の測量設計、吉尾峠の道普請、夕沢護岸の災害査定の実施が報告された。

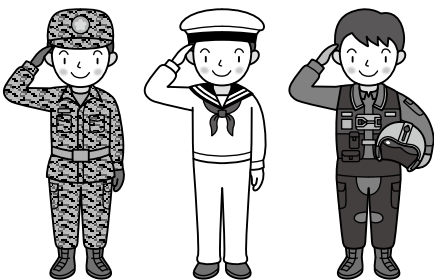
議会の運営に関する以下の内容を調査した。

- ・ 懲罰委員会の細則について
- ・ 各常任委員会の活動方針について
- ・ 1月会議の開催について他
- ・ 全員協議会の開催、委員会条例の改正等について
- ・ 3月会議の議事日程、議案など。予算特別委員会の設置、申し合わせ先例集の内容他

## 議会運営委員会

## 自衛隊の誘致に係る陳情特別委員会

### 3度目の陳情 審議未了



会津地方へ自衛隊の駐屯地を誘致しようとするこの陳情は、過去2回不採択となった経過がある。本陳情は3度目であり、過去の経過も踏まえ、慎重に審議するため特別委員会を設置し、8月の陳情者の参考人招致を含め7回の委員会を開催し審査したが、結論を出すには至らず審議未了とした。

# 人事

任期満了に伴う常任委員会委員の選任が行なわれた。各委員から希望を取った上で議長が調整を行ない、総務厚生常任委員会6名、経済文教常任委員会5名が選任された。

なお、今回から任期満了となる4月19日から逆算して45日前の選任が可能となったため、3月会議での選任となった。任期は4月20日から2年間。構成は次のとおり。

## 常任委員会、新体制決まる

### 議会選出監査委員は継続



議場写真

総務厚生常任委員会	鈴木 征	消防・防災・保健・医療・福祉・財政等に関すること
	藤田 力	
	佐藤 孝義	
	中野 大徳	
	山岸 国夫	
	齋藤 邦夫	

経済文教常任委員会	大塚 純一郎	農林・水産・建設・観光・教育等に関すること
	目黒 仁也	
	鈴木 好行	
	目黒 道人	
	酒井 右一	

議会選出監査委員 目黒 仁也

#### メモ

この後広報広聴常任委員会委員の選任他、議会運営委員などの選任が行なわれる。

## 新教育長に渡部氏 人権擁護委員に鈴木氏それぞれ決まる



町長から教育長と人権擁護委員の人事案件が提案され、両議案とも満場一致で同意した。

教育長  
渡部 早苗氏(小川)  
人権擁護委員  
鈴木 美穂氏(只見)



賛否は投票で行なわれた

# 介護保険

## 高齢者福祉計画

### 第7期介護保険事業計画示される



小川サロンでの1コマ

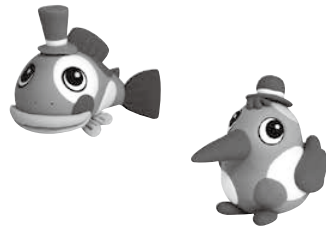
#### 反対討論

##### 山岸国夫議員

第1号被保険者の介護保険料の改定について、15年前と比べ2倍・現状比120%の増額となり、町民負担を強いるもので反対する。

この計画は、昨年度までの第6期計画を審議検討し平成30年度から平成32年度までの3年間を計画期間としている。

「高齢者が健康でいきいきと暮らせるまちづくり」を目指し、「第七次只見町振興計画」や県・国の各計画と整合性をはかりながら、安心して生活を継続できる高齢期の暮らしを支える基本的な考え方と具体的な方策、向こう3年間の介護保険サービスの事業計画を明らかにするために策定された。



#### 意見書採択

議員提案で下記の意見書が提案され、採択した。  
なお、意見書は、国・県機関に送付された。

##### ○福島県の最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書



只見町がユネスコエコパークとして世界に認められたのは、山間豪雪地帯の厳しい環境の中で自然と共生しながら脈々と受け継がれてきた暮らしが評価されたものです。

山の恵みを活かしたつる細工。これも自然との共生で今年の雪まつり会場でも大変な人気がありました。そんなつる細工の匠の一人、馬場敏郎さんです。

#### 奥会津工芸の「匠」

塩ノ岐  
馬場敏郎さん

表紙の写真

# 青少年旅行村

## 整備計画

全員  
協議会

運営体制と収支見通し

今後とも議論必要

3月会議終了後、青少年旅行村キャンプ場整備計画について、全員協議会が開かれた。

町からは施設の老朽化により、改修工事が必要であること、只見線の再開通や八十里越の

旅行村モニタリングキャンプ



開通を見込み、滞在型観光施設が必要であること、株式会社スノーピーク（三条市）の指導を受け、時代に合った施設にリニューアルしたいなどの説明を受け協議した。

その結果、詳細な収支計画、指定管理の在り方、PR方法、将来を見据えた観光政策、など今後の検討課題もあることから引き続き議論を進めていくことになった。

### 役場庁舎

## 暫定移転進む

当局より役場庁舎暫定移転の進捗についての説明があった。工事計画は1次工事として、旧只見中学校の1階部分、2次工事として2階部分と駅前分庁舎改修、3次工事と

してピロティ内改修、外部工事等を予定している。完成後は、駅前庁舎に町民生活課・観光商工課を残し、他の課は町下庁舎に移転となる。



改修工事が進む町下庁舎（旧只見中学校）



老朽化で建替えが必要な消防只見出張所

# 広域 消防

## 只見出張所に 水槽付消防ポンプ車配備

2月23日に議会定例会が開かれ、30年度一般会計予算など計18議案を議決した。

30年度一般会計予算は、歳入歳出それぞれ約20億9千万円で、主なものは消防新庁舎建設工事費約16億4千万円（30年度約10億2千万円、31年度約6億2千万円）、只見出張所に配備される水槽付消防ポンプ車約5千万円となり、昨年度の倍以上の予算となっている。なお、30年度の只見町負担金は4億2千8百万円程度となっている。

# 環境 衛生組合

## みんなで もっと ごみの減量化を



可燃ごみを減らしましょう

1月16日臨時議会が招集され、一般会計補正予算の議決と環境衛生組合管理者に下郷町長、副管理者に南会津町長、只見町長が互選された報告があった。

さらに2月23日に議会定例会が開かれ、条例改正10議案のほか、29年度一般会計補正予算、30年度一般会計予算について議決した。

30年度一般会計予算は、歳入歳出それぞれ約10億1千万円となり

昨年度より約6千万円の増額となっている。増額理由は主に老朽化した施設の維持修繕費になる。

只見町負担分は約1億3千万円となり、引き続きゴミの減量化が必要だ。



ブナりん

# 教えて! 議会のこと

Vol.15



アカシヨウちゃん

## 『予算と税金』ってなあに?



イワっぺ

只見町キャラクター ©Tadami

みんなに代わって只見町のキャラクターたちが聞いてくれました。



**ブナりん**

3月会議は予算が話題になるけど、どうして。

**予算委員長** 3月会議は、役場の1年間の仕事を定める大切な会議なんだ。町長はどんな仕事にいくら税金を使うかなど細かく議会に説明し、議会はその効果などをチェックし、決める権限と同時に決めた責任もあるんだよ。



**アカシヨウちゃん**

今年の予算は去年とどう違うの。

**予算委員長** 今年の予算は、特別会計を除いて55億7800万円が決定したけど、去年より4億円以上も多いんだ。理由は、南会津郡がお金を出し合っている消防本部庁舎の新築負担金が大いんだよ。

**アカシヨウちゃん**

火事や救急の時のための予算、大事だね。



**イワっぺ**

「補正予算」ってなあに。

**予算委員長** 3月に1年間の予算が決まっても、途中想定外のことが起こって急に予算が必要になる場合もあるんだ。これを補正予算っていうんだよ。例えば、今年は大雪で除雪に必要な予算が足りなくなって6500万円が追加されたんだ。でも逆に減らす場合もあるんだよ。

**ブナりん** 只見町は、全国に先がけ「通年議会」と言って365日補正予算などを審議できる体制をとっていて、災害時などは必要予算にすぐ対応することができるんだよね!

**予算委員長** よく勉強しているね。

只見町議会中継は、  
只見町議会ホームページから  
視聴できます。





## 一般質問

- **大塚純一郎** ..... 16  
目指すべき町づくりのためには
- **目黒 仁也** ..... 17  
将来の政策を町民に訴えるべき
- **藤田 力** ..... 18  
屋根からの落雪危険カ所は
- **鈴木 好行** ..... 19  
スポーツパーク除雪の支障理由は
- **山岸 国夫** ..... 20  
放課後児童クラブの実施見通しは
- **目黒 道人** ..... 21  
リーダーの夢や理想を語る場を
- **酒井 右一** ..... 22  
町長の最重要政策は
- **鈴木 征** ..... 23  
克雪対策に向けた今後の取り組みは

### 一般質問とは

議員が行政全般(役場の仕事全般)に対して、方針をただしたり政策の提言などを行なうことです。

# 町政を問う

この町を想い8名が

# 目指すべき 町づくりのためには

**答** 従来にとらわれず横断的に検討



おおつかじゅんいちろう  
**大塚純一郎**議員

**答**

只見町に住んでいる住民の方々

**問** 少子・過疎・高齢化に歯止めがかからない只見町の現状で、今、求められるものは「安心して住める、楽しく暮らせる、住みよい環境」と考える。現在住んでいる住民が「住みよい町」を実感できなければ、これから取り組む「移住・定住促進」政策の実現は困難である。

そこで、「住みよい町」、「安心して住める町」を実現するための町長の考えを問う。



3/13 第11回只見中学校卒業式が行なわれた

が「住みよい町」を実感されることが「移住・定住促進」には不可欠であるとの認識している。子育て支援、定住促進政策、雇用支援策などに取り組んでいく。

また、一層の町政進展を目指して4月から組織機構の見直しを行なうと共に、当町の抱える諸課題に対して、従来の縦割りの行政手法にとらわれず横断的な検討・推進体制を構築すべくプロジェクトチームを立ち上げて対応する。

**問**

9月会議、12月会議でも再三質問してきた「シルバー人材センター」の立ち上げについて、現在の進捗状況と今後の取り組みについて問う。早急な設立が必要であるとの認識は、9月、12月の質問で確認してき

**答**

町長の考えを問う。

**答**

町の活性化を図っていく上で、高齢者の皆さんが元気に地域で活躍できることが、極めて重要だと考える。働くことは、経済的のみならず、生きがいづくりや、コミュニケーションの活

性化にもつながる。これらのことから、シルバー人材センターの設置は、必要不可欠と考える。センター設立に係るニーズ調査について、社会福祉協議会との協議が終了し、調査の対象者を精査中である。

今後は、3月中に調査用紙を発送し、平成30年度早期にニーズ調査の結果をまとめ、設立に向けた検討を進める。

## シルバー人材 センターの設立は

**答** 設立に向けて検討を進める



# 将来の政策を 町民に訴えるべき

**答** プロジェクトを立上げ議論したい

**問** 震災や豪雨災害の経験、町民は今、町の将来に夢や展望を持っておられるかを考えると現実不安も多い。町長は、町民が夢を持てる政策をもつと町民に訴えるべきだ。

る。30年度は、庁内にプロジェクトチームを立上げ具体的方向性を示していきたい。

**問**

八十里の開通など道路環境が劇的に変わる。このチャンスを見逃さず交流人口対策を今加速すべきだ。

**答**

世界的なエコパークともあわ



め ぐろ じん や 目黒仁也議員

せ交通の要所となる。今後4年〜5年は重要な時期と考えている。

**問**

湯ら里と亀岡サントバレーコート、サッカー場一帯は、今後新たな若者集客の拠点として可能性が大きい。また、湯ら里は現在の宿泊キャパを増やすことが収益の向上との財政負担の軽減にもつながる。今後の整備方針は。

**答**

亀岡スポーツパークは現在基本構想を練っている。それを持ってまた皆様と協議したい。30年度は駐車場と進入路を整備する計画。

## 雪害未然防止策の強化を

**答** 何ができるか研究する



3/11 明和公民館まつり

**問**

豪雪対策本部での地域・集落の情報収集体制は。

**答**

各振興センター、民生委員、区長様に依頼し情報の把握に努めている。

**問**

現在の空き家条例で、空き家からの落雪対策の援助が出来ないか。高齢化で大雪対策の制度を使いたくても使えない実態もある。行政が主導で対策を講じないとこの問題は解決しない。

**答**

条例の運用は難しい。しかし、屋根からの危険性は十分理解できる。何ができるか今後研究したい。

**問**

今年の対策本部集計の被害状況は、約半分が落雪によるもので、この数値を見ても落雪事故の未然防止対策は強化すべきだ。現在の規定が町民生活の現状にあわなくなっている可能性もある。

**答**

大雪対策は重要と認識している。今後どのような形がいいのか、検討させていただきたい。

# 屋根からの 落雪危険カ所は

**答** 調査をするように指示した



ふじ ちから  
た 田 力 議員

**答** 今回の大雪の状況もあることから柔軟に検討したい。

**問** 危険屋根の所有者も改良には多額の費用がかかる。克雪対策補助金を拡充する考えはないか。

**答** 各振興センターなどに調査するように指示してある。

**問** 今年の雪まつりの日、屋根から289号国道に落雪があり片側交通止めとなった。こうした場所が町内に何カ所あるか調査しているか。

**答** 移住や人口問題を考える時、極めて重要なのが住宅だが、町の住宅政策が分かりにくい。昨年11月に公募した民間借上げ住宅の結果は。今後、どう進めるのか。

**答** 一事業者から応募があり、現在、協議しながら進めている。手続きを経た上で事業者を決定し、なるべく早く入居者を公募・決定したい。また、新年度分5戸程度の事業者公募の準備も進めたい。

**問** 誘致企業の宿舎が不足しており、自社で確保していると聞く。町で支援する

**答** 誘致企業の宿舎に車庫が無い町営住宅に有料で車庫を建てる考えはないか。

**答** 町営住宅の79戸に車庫が無い。用地の確保等、整備に向けて努めていく。

**答** 町は、農業関係の補助金情報をお知らせばんからホームページで提供すると2月16日のお知らせばんで周知した。補助金情報は、大規模農家だけでなく、平等にお知らせばんで周知すべきと考える。

## 民間借上げ住宅の 進め方は

**答** なるべく早く入居者を決めたい

**答** 追加整備については、総合的に考えて検討したい。

**問** 只見沖の定住住宅、30年度に世帯用4戸建てる計画だが、もう一棟建設しないのか。

**答** 民間借上げ住宅の追加で対応したい。

**問** 住宅事情の状況は聞いている。

**答** 住宅事情の状況は聞いている。

**問** 町は、農業関係の補助金情報をお知らせばんからホームページで提供すると2月16日のお知らせばんで周知した。補助金情報は、大規模農家だけでなく、平等にお知らせばんで周知すべきと考える。

**答** 国県補助事業は、募集期間が一週間程度の事業もあり、お知らせばんで難しい状況だ。なお、町の補助事業などは、従来どおりお知らせばんでの情報提供を行う。



新たに開業する民間アパート（只見新町）

# スポーツパーク 除雪の支障理由は

**答** 町道除雪を優先したため

**問** 冬期の除雪体制が十分に機能しなかった理由は。

**答** 1月の大雪により、町道除雪を優先したため、トレーラーハウス進入路の除雪まで行き届かなかった。

画している」との答弁だったが、現在までの実施回数は。

**答** 大雪の影響で実施していかない。3月中にできる限り実施したい。

**問** 12月一般質問の際、「冬期間のイベントを10回以上企

**問** 30年度は駐車場の整備、クラブハウスの基本設計を予定している。クラブハウスは町民が利用できる

スポーツジムのような施設にできないか。

**答** クラブハウス基本設計は、議会・町民の意見を伺って進めたい。

**問** 30年度の利用客数の見込みは何人か。

**答** サッカー場、サントバレーコート併せて2000人程度を目標としている。選手の合宿等の今後の見込みは

あるのか。

**答** 競技団体へのPRを実施している。現在全日本チームの合宿等も検討している。

**問** 委託業者に頼るだけでなく、町として町民が楽しめるイベントを企画してみ

**答** 町としては委託な企画を検討したい。



ゆき よしき 鈴木好行議員



イベントで賑わうトレーラーハウス

# 豪雨災害での 集団訴訟の経過報告を

**答** 係争中だが現在は論点整理だ

**問** 現町長はこの裁判についてどのように考えているか。

**答** 現在係争中なので意見は差し控える。

**問** 原告住民側も弁護士費用を支払いつながり税金を納めているという歪んだ構造になっている。早期解決に向けて和解策はないか。

**答** 裁判所の判断に基づき、対応したい。

**問** 町民に対する説明責任があるはずだ。裁判に支障がない範囲での説明を。

**答** 現在係争中だが、論点整理が行なわれている状況だ。

**問** 現在までに何回裁判所における事情説明が行なわれ、弁護士費用は総額いくら支払ったか。

**答** 15回の裁判の期日が開かれ、弁護士費用は108万円支払っている。

# 放課後児童クラブの 実施見通しは

**答** あり方を検討中



やまぎしくに お  
**山岸国夫**議員

**答** 放課後児童クラブは、厚生労働省が所管で専任の指導員の配置・年間250日以上の開所が必要。現状では実施に向けての課題が多い。現在取り組んでいる「放課後子ども教室」「子育て

**問** 一昨年12月会議で、町の「子ども・子育て支援事業計画」に基づく一日も早い実施を求めた。答弁は、「目標の平成31年の一体的な本格実施に向けて環境づくりに取り組む」とあった。その後の対応は。



子ども達の健全育成を目指す子育て広場

**答** 条例制定を今議会でご提案している。30年度は教育委員会と一体的に検討。現在の利用者の申し込み等窓口一本化を図る。

**問** 実施年度の見通しは。  
**答** 居場所が確保されている。現在の事業を継続しながら今後のあり方について検討する。

## 介護職員育成と処遇改善は

**答** 奨学金は30年度中に一定の方向を

**問** 一昨年6月会議において、介護職員の育成を提案した。町内の介護施設における介護職員の年齢構成は40歳以上が多く、町は若い人たちの人材育成が急務であることを認識しており、「給付型の奨学金について制度設計を検討し

ている」と回答している。その後の対応は。

**答** 国・県の動向を踏まえながら、各課等で所管している既存の奨学金について課題を整理し、必要な見直しを図っていく。

**問** 給付型の奨学金支給は只見町の将来にとっても大事な課題、町独自の対応を。

**答** 30年度中に一定の方向を出せるよう内部検討する。

**問** 介護職員の待遇改善について「南会津会」との協議は行なわれたか。

**答** 処遇改善は、昨年6月から給与改善手当てが支給された。処遇改善は南会津会の議決を経て施行さ

れる。

**問** 国の介護報酬削減により全国では民間事業者の閉鎖もある。改善には国の介護報酬引き上げが必要。町長は国に意見を上げることを求める。

**答** 郡の町村会で施設の運営について討論している。国へは要望していく。

# リーダーの夢や理想を語る場を

## 答 町政懇談会を予定している

**問** 只見線の全線復旧、八十里越の

開通、東京オリムピック開催等によるインパクト効果など、我が町にとって重要な時代を迎えようとしている。こうした背景を踏まえたリーダーのビジョン、舵取りが重要だと考える。町長の意欲的な展望について伺

う。

**答** 只見線の復旧や八十里越の開通

により当町は大きな転機を迎え、これこそが交流人口の拡大ひいては地域振興に繋がっていく好機だと捉えている。また近年、町内においても外国人旅行者を見かける機会も増えている。これらの好機

を活かすためには当町の魅力を高めていく必要があることから、只見ユネスコエコパークをホームページ等を通じて発信していきたい。また、道の駅の整備についても力をいれていきたいため、新年度からはプロジェクトチームを立ち上げ、環境の変化を追い風とすべく取り組んでいく。

**問**

ユネスコエコパーク事業には期待したいし、10月にはブナ林フォーラムも予定されていると聞いてよかったなと思っている。一方、昨年もPR出展したアースデイ東京への参加も働きか

けてみたが、検討されたか。

**答** 検討はしたが、

多忙であり今年の出展は見送ることになった。

**問**

昨年も人員が多忙であったが、出展した経緯がある。1年経っても依然として人員不足により多忙という課題が改善されていないのは問題ではないか。

**答**

時期などの問題もある。職員は限定されてしまうので、やり方の工夫などが必要だ。

**問**

町長就任から1年が経過している。そろそろリーダーの夢や理想を語る場面が必要だ。町政懇談会の開催予定はあるか。

**答**

新年度の早いうちに開催を予定している。

**問**

議会報告会は毎年開催することになっている。町政懇談会も開催の時期等、

**答**

ルールを決めてはどうか。指摘を踏まえ、内部検討していきたい。



とみちみち黒目 議員



議会報告会にも多数のご参加を

# 町長の最重要政策は



さか い ゆう いち  
**酒井右一**議員

## 答 人口減少対策が最大の使命

**問** 町長の最も重要とする政策は。

**答** 人口減少対策である。最大の使命と認識している。これら政策を実現させるため、本年4月から組織横断的に機能するプロジェクトチームを発足させる。

**問** 人口ビジョンでは人口目標を3千人としている。その時、診療所・学校・他の公的機関や機構が維持できるのか。

**答** 統廃合も視野に入る。しかし、教育・医療を無くす訳

にはいかない。3千人では維持できない。今、人口は約4千5百人である。あと1千5百人減って3千人。その時の集落毎人口をシミュレーションしているのか。

**問** 出来ていない。私はこれを独自調査して質問している。3千人とは単に統計的な数字。このまま政策・施策がなければそうなるだろう。町長は施策を行ない、少なくとも6千人以上を政策目標にすべきではないか。

**答** 私もそう願っている。それならば施策を行なうべきだ。現状では明和自治振興会が極めて注目すべき自治を行なっている。極限におかれて

**問** それならば施策を行なうべきだ。現状では明和自治振興会が極めて注目すべき自治を行なっている。極限におかれて

**答** 地域独自の課題を地域が解決しているという認識を持っている。そのまま町の施策とするには無理がある。

**問** その在り方を問題にしているのではない。自治振興会の視点に注目している。地域や集落が疲弊し現状のままならない事態。誰かがこの事態

を回避しなければならぬ。今は自治振興会がその役割を担っている。本来は税金を集め行政を行なう役場の仕事ではないか。

**答** 他のも二地区でも同様な自治が起これば、行政の仕事として認識できる。

只見町人口ビジョンによる推計

集落名	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-90	90-94	95-99	100-	人口計
石伏	0	0	0	0	0	2	1	3	1	2	0	0	1	1	3	3	1	2	0	1	0	22
只見	17	23	22	52	24	23	28	33	35	39	35	35	49	49	54	66	55	39	17	3	0	698
叶津	0	0	0	1	1	1	3	0	0	2	3	7	7	6	3	9	7	1	3	0	0	60
八木沢	1	1	0	0	0	1	1	1	1	2	3	3	2	2	4	3	3	1	0	0	0	31
蒲生	1	2	2	3	3	1	1	3	3	7	10	10	8	8	9	13	14	10	5	0	0	114
寄岩	1	1	0	0	1	2	1	0	0	2	1	1	1	1	2	1	3	1	1	0	0	20
塩沢	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	3	3	4	4	6	3	1	3	3	1	0	36
十島	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	1	1	1	2	1	1	0	1	0	0	10
館ノ川	4	1	1	0	1	3	2	3	2	2	4	1	3	3	5	5	6	3	3	1	0	52
黒沢	0	0	1	2	1	2	0	0	1	1	3	1	3	3	1	0	2	1	2	0	0	24
只見計	23	29	26	58	34	34	38	44	44	58	63	62	80	80	91	99	95	69	33	8	0	1068
黒谷	6	7	18	16	6	7	9	18	20	18	22	20	20	20	24	33	31	24	16	3	0	339
上福井	3	1	6	4	3	4	5	5	4	10	8	4	4	4	5	9	13	3	2	0	0	96
下福井	5	3	3	6	4	5	3	5	1	8	6	9	9	9	7	9	10	7	3	0	0	113
橋戸	1	0	1	3	1	1	2	1	2	5	2	7	7	5	7	7	9	1	0	0	0	69
小川	3	4	5	5	2	5	7	5	11	5	11	8	16	16	11	12	11	9	1	1	1	146
荒島	1	0	0	1	3	1	0	0	0	3	1	2	0	0	0	1	3	3	0	0	0	18
熊倉	3	2	1	1	1	1	2	3	5	1	0	3	5	5	3	4	1	7	2	0	0	52
亀岡	0	2	3	1	1	0	1	2	3	1	3	0	5	5	3	5	2	2	3	1	0	42
深沢	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	1	2	1	1	0	10
長浜	3	3	3	4	3	1	2	5	3	6	8	9	9	9	9	17	18	21	20	7	1	163
朝日計	25	22	41	41	23	26	31	44	50	58	63	63	75	75	69	98	97	86	48	12	1	1,049
小林	11	10	13	8	4	8	14	14	12	7	5	7	20	20	20	14	14	15	7	3	0	226
梁取	4	5	10	6	3	1	3	4	9	7	4	7	12	12	7	9	9	7	2	1	0	123
塩ノ岐	0	3	1	1	2	1	1	1	3	3	3	5	5	5	4	5	8	5	3	1	1	61
二軒在家	4	2	3	3	1	1	2	3	3	5	2	3	5	5	6	4	5	4	1	1	1	66
大倉	7	7	9	5	7	10	12	10	9	7	14	12	18	18	14	14	20	12	4	1	1	211
坂田	1	4	3	5	1	2	2	5	10	3	3	6	6	3	7	10	9	4	1	0	0	87
衛沢	1	1	1	4	2	5	0	3	2	7	7	5	7	7	8	7	12	3	1	0	0	86
明和計	28	33	40	33	21	29	33	38	42	40	39	46	72	72	63	61	73	63	23	7	3	861
只見町計	76	84	107	133	78	89	103	126	135	156	165	171	226	226	222	258	265	218	105	28	5	2,977

# 克雪対策に向けた 今後の取り組みは

**答** 要望状況等も見ながら柔軟に検討

**問** 地域防災計画の効果的な運用について、今般の豪雪により防災計画に基づき豪雪対策本部を設置したが、その内容は。

**答** 1月27日午前5時に警戒積雪深260センチを超え、その後も降雪が予想されたため、午前8時に豪雪対策本部を設置した。

た。

**問** 豪雪から町民の安全を守るための具体的な活動とその効果は。

**答** 防災行政無線及びびおしらせばんにより、除雪時の安全確保の徹底や落雪等の注意喚起に努め、パトロールの実施により、危険個所の把握や注意喚起を実施した。その効果は、残念ながら除雪中の事故が2件、落雪による事故が2件、計4件の人的事故が発生した。今後も除雪中の安全確保の徹底及び融雪災害や雪崩等に対する注意喚起に努めていく。

議員 征 すすむ

鈴木 すす



**問** 雪消えが遅れ、農業経営や土木工事に影響が出ると予想される。今後の対策は。

**答** 農業への対策は、豪雪による春作業等の遅れを懸念し、町道等の押戻し作業に併せ、育苗用地の融雪を促進する除雪支援をする。工事への対

策は、早期発注を目指し、雪崩発生危険性も懸念される箇所もあるため、安全第一に対応する。

**問** 克雪対策に向けた町の今後の取り組みは。

**答** 克雪対策事業補助金については、今後の要望状況等も見ながら事業の継続についても柔軟に検討する。

**問** 豪雪対策本部を設置することによる財政的なメリットは。

**答** 補助金や起債等が有利になる制度は現在のところない。

## 除雪事業者を増やす 対策は

**答** 補助金要綱を定め確保に努める



本年1月豪雪対策本部設置

**問** 除雪支援事業について、住宅周りの除雪、屋根の雪おろし除雪など、要請件数は。

**答** 玄関周りや除雪機の進入路以外の庭などの除雪は、本制度での対象外。屋根の雪おろし除雪は、別途除雪経費の一部を助成する制度があり、対象者に対して制度の周知を図っている。平成28年度実績は43件。

**問** 業者を増やす対策は。

**答** 除雪機整備にかかわる補助金要綱を定め、指定事業者の確保に努めている。

## 新しい郷土料理を考える



朝日小学校 6年

目黒 きらり

私たちは、「新しい郷土料理を作ろう」という目標で総合学習に取り組みました。

私の班は、只見産のトマトやさつまいもなどを使い「只見の四季」をイメージした料理を作ることになりました。

友達と話し合ってもすぐにはいいアイデアが出ません。昔の人も時間をかけて協力や苦勞をしながら町の名物を考えたのだと思います。友達と協力して最高の新しい郷土料理について考え、作り出したいと思います。

## 只見町、大好き



明和小学校 6年

山内 柚妃

私は、昨年10月に会津若松から只見町に引っこして来ました。そして、すぐに学校にも地域にも慣れました。引っこして来て、不安だらけだった私は、只見町にすくわれました。それは、みんなが仲良くしてくれたからです。近所のおじいちゃんやおばあちゃんは、笑顔であいさつをしてくれました。そして友達は、たくさん話しかけてくれ、私をすぐに仲間に入れてくれました。

私はそんな只見町が大、大、大好きです。

## 編集後記

例年になく大雪の冬でしたが、春になり雪の下から地面も顔を出すようになりました。何かが変わるとき、長年慣れ親しんだ場所が無くなったり、去らなければならぬのは寂しいものです。しかし、それは新しい何かが始まることではないでしょうか。昨日とはちよつと違う、小さなことでも新しい何かを始めてみたくなる、そんな入学式シーズンでした。

(目黒道人委員)

## 発行責任者

議長 齋藤 邦夫

## 広報広聴常任委員会

委員長 目黒 仁也

副委員長 目黒 道人

委員 大塚純一郎

中野 大徳

山岸 国夫

鈴木 好行